

令和4年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第3回対人援助スキルアップ部会を開催しました



1月17日（火）に第3回対人援助スキルアップ部会をオンラインで開催しました。出席者は、部会メンバー8名と在宅医療推進センター2名、事務局6名でした。

○今回の部会では、事例検討と3年間の活動の振り返り及び今後の方向性について意見交換を行いました。

事例検討

【事例の概要】事例提供：瀬下委員

- ・80代男性、妻と2人暮らし、要介護1
- ・胆管がんの病状悪化に伴い、介護保険を新規申請。妻の精神的負担が強まっていることを心配した別居家族が入院や施設利用を強く希望しているが、本人は在宅を希望している事例。

【事例を聞いての感想・意見】

- ・丁寧な関わりがされていた。
- ・当初、本人は周りの人に騒いでほしくないと伝えていたが、「わがままを聞いてくれてありがたい」と言うようになっており、本人と信頼関係が築けていたと思う。
- ・別居家族とタイムリーな情報共有をするために、ZoomやMCネットを活用するのも有効だと思う。
- ・本人の凹んでいるところではなく、強みを見つけることができていた。
- ・がんの予後を予測して本人に説明したり、サービス調整ができていた。

3年間の活動の振り返り及び今後の方向性について

- ・3年間の活動について、PDCAの視点から振り返りを行いました。

【委員からの感想・意見】

- ・事例から自らを振り返り学ぶことが多かった。今後も続けてほしい。
- ・医療と介護が連携することで良くなるものがたくさんある。
- ・自分の専門しか見ていないことに気付けた。
- ・研修を広げることで質の高いケアや地域全体のQOL向上につながると思う。

その他

- ・2/18に上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会及び各部会の3か年の取組報告会を行う予定です。
- ・揚石先生より。6/24、6/25に新潟市で開催される日本在宅医療連合学会大会に、当部会の3年間の取り組みを発表することについて、了承されました。

★次年度も新たなメンバーで、対人支援のスキルアップを図る取り組みを行う予定です。委員の皆様3年間ありがとうございました。